

(新) 良好な感覚環境形成のための街作りの推進調査

50百万円(0百万円)

水・大気環境局 大気生活環境室

1. 事業の概要

感覚環境の街作りの推進

50百万円

都市更新の機会をとらえて、高度成長期の建物等の量的充足に重心を置いた街作りから、熱(ヒートアイランド)、光(光害)、かおり(悪臭)、音(騒音)といった人間の五感感覚を重視した街作りへの転換を推進することで良好な生活環境を確保することが重要である。そのため、以下のような五感を重視した街作りのための人材育成や手法の開発、情報発信を行うことにより社会システムの構築を図る。

感覚環境の街作り推進のための人材育成の検討

感覚環境の街作り推進のための手法の開発

地方公共団体を対象とした感覚環境の街作り推進のための講習会等開催

感覚環境の街作り普及・促進のためのシンポジウム開催

2. 事業計画

調査項目	H20	H21	H22
感覚環境の街作りの推進			
			→

3. 施策の効果

感覚要素を重視した感覚環境の街作り推進することで、従前から進められている利便性・効率性の追求に加え、より「質」の高い生活環境を実現するための社会システムを構築できる。

4. 備考

調査費 40,000千円

(内訳) 感覚環境の街作りのための人材育成検討 12,000千円

感覚環境の街作りのための手法の開発 23,000千円

地方公共団体を対象とした感覚環境の街作り推進のための講習会等開催 5,000千円

委託費 10,000千円

(内訳) 感覚環境の街作り普及・促進のためのシンポジウム開催

(地方公共団体1箇所) 10,000千円

# 感覚環境の街作りの推進

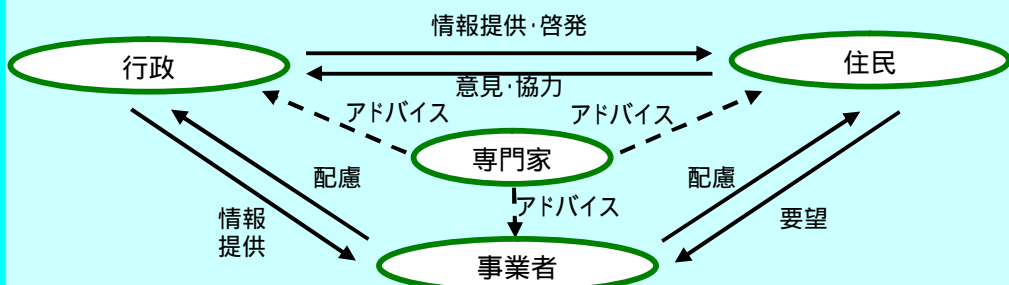
## 現状の問題点と課題

住民のニーズが量から質に転換していることから、高度成長期に形成された第一世代の都市から環境共生型の第二世代の都市に再編することが必要

## 施策の方向

生活環境の質的なニーズに対応するために、熱（ヒートアイランド）、光（光害）、かおり（悪臭）、音（騒音）といった人間の五感感覚を重視した街作りを総合的に推進することで良好な生活環境を確保

<社会システムの構築>



<手法の開発>

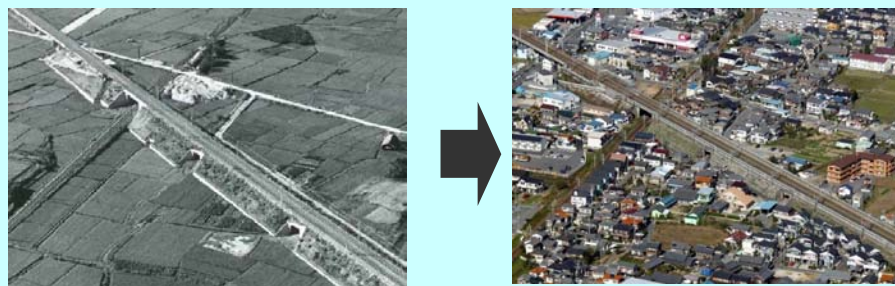
光害対策事業（上方光制限街灯導入等）



音環境改善を目的とした土地利用を誘導するため経済的手法の開発

<感覚環境の街作り推進のための講習>

かおり環境設計の周知・普及



1964年 新幹線付近の土地利用 2003年

## 必要な予算措置

- 感覚環境の街作り推進のための人材育成検討経費
- 感覚環境の街作り推進のための手法開発検討費
- 地方公共団体を対象とした感覚環境の街作り推進のための講習会開催経費
- 感覚環境の街作り普及・促進のためのシンポジウム開催